

自助・共助・公助の総合的推進

減災のための自助・共助・公助の総合的推進

○自らの確な防災行動の実施を！（自助）

- ・防災意識の維持・向上
- ・災害時における避難行動の事前確認
- ・自らの行動を判断するために必要な情報入手手段の確保

○個々人の防災行動を支援する地域防災力の向上を！（共助）

- ・個々の地域の実情に応じた防災情報の共有化
- ・災害時要援護者の避難誘導・支援
- ・地域防災リーダーを中心とした広報・教育・訓練の実施

○防災情報の伝達・提供を迅速かつ確実に！（公助）

- ・防災情報の伝達・提供の体制の構築・強化
- ・避難場所等の確保と設営
- ・地域防災リーダーの活動支援
- ・防災意識向上のための広報・教育・訓練の推進
- ・個々人が的確な情報入手できる情報提供環境の整備
- ・災害時における有用な情報提供手段の推奨

－緊急防災情報に関する調査報告書－

災害を軽減するためには、「自助、共助、公助」が重要であると言われています。「自助」とは自らの命は自分で守ること、「共助」とは隣近所が助け合って地域の安全を守ること、「公助」とは行政が個人や地域の取組みを支援したり、「自助・共助」では解決できない大くくりの仕事を言います。防災対策には、災害発生を予見する予防対策、災害発生に伴う応急対策、災害後の復旧・復興対策という三段階があり、いずれも「自助・共助・公助」の三つの力が連携することが必要です。例えば、阪神淡路大震災では、倒壊家屋の下から救出された全体の約3/4の方々は、地域住民の方々から助け出されたと言われています。

このように、自らの身は自分で守ること、隣近所が助け合って守ることなどが大切であり、それらが地域を守ることに繋がります。

また、住民の方々の自助・共助には、これを支援する地域防災リーダーも必要であると言われております。この地域防災リーダーの活動支援や教育などにも、行政も協力して今後取り組む必要があります。

これらは、減災のために総合的に推進することが重要です。